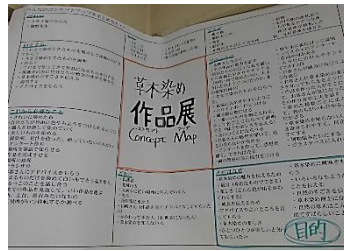


研修テーマ

「子どもが自ら地域社会に働きかけ、協働と探究を続けていく総合学習のあり方」

- 1 視察期日 平成28年1月26日(土)
- 2 視察場所 神奈川県横浜市立大岡小学校
- 3 研修報告

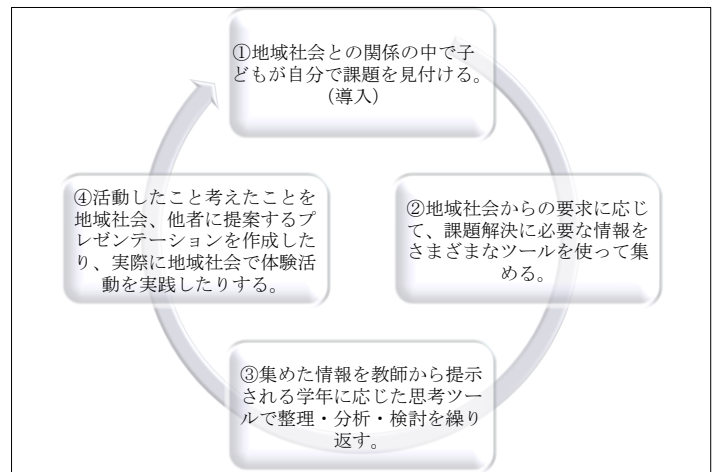


(1) 研修の概要

「協働と探究」を学習指導研究の重点に研究実践を継続している大岡小学校の公開授業研究会に参加し、「子どもが自ら地域社会に働きかけ、協働と探究を続けていく総合学習のあり方」について考え、これからの授業改善に取り組んでいく。

(2) 研修から学んだこと

大岡小学校は本校と同じように生活科・総合的な学習の時間を軸にして子どもの学力を育む教育活動を展開している。どの学級でも「子どもが自ら地域社会に働きかけ、協働と探究を続けていく学習」が展開されていた。全学級の指導案において共通していた『学習のサイクル』があった。(下図) こうした探究の過程を全ての教師が共通理解し、子どもと共に学習を創っていたことがとても印象的であった。



また、授業参観・研究協議会では、これからの教育を通してどのような子どもの姿を理想像としているかということが議論の中心であった。「じっくり考えること」「どれが適切か過剰な情報の中から適切に判断し決断すること」など私たち人間に求められている「思考力」について活発な協議が行われた。また、大岡小学校では「他者と話し合ったり情報交換したりして、新しいアイデアを生み出していく学習」「他者と折り合いを付けながら1つの決断をしていく学習」が積極的に位置づけられていた。そして、単に知識を暗記したり知っていることだけを伝えたりする一方的な活動に留まらず、より分かりやすく表現する力を高め、体験活動を通して出会った地域の方々に提案する活動や、学年に応じた様々な「思考ツール」を教師が提示し、子どもがそれらを活用しながら論理的に考える学習も大切にされていた。「協働」「探究」を実現する教師の指導が学校全体の教育活動を通して積極的に行われていた。

(3) これからの課題

協働と探究の学びを支える教師の支援のあり方について次の2つに課題をもって取り組んでいきたい。①協働思考を促す「思考ツール」の活用と板書研究 ②探究型の学習を支える「地域社会との連携授業」

最後に、横浜市の視察研究を終えて、諏訪の教育環境の魅力にも改めて気付くことができた。諏訪には実社会で活用できる力を育むための豊かな教育環境がそろっている。地域の専門家や実践者の方々と連携した学習活動や、身近な自然・文化・歴史を対象にした体験活動を実現できる。また、子ども自らが学ぶ探究型の授業や子どもが他者と共に協働思考しながら学び合う授業が諏訪では多く実践されている。このような恵まれた諏訪の教育環境に感謝してさらに子どもたちとダイナミックな学習を創っていきたい。

